

シンポジウムのご案内

報道関係者各位

2012年10月3日

国際連合宇宙部(UNOOSA)

国立大学法人 東京大学

国連・東大主催「第4回 超小型衛星シンポジウム」開催のお知らせ

平素は、最先端研究開発支援プログラム「日本発の『ほどよし信頼性工学』を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東京大学は、10月10日(水)から国際連合宇宙部と「第4回 超小型衛星シンポジウム(UN/Japan Nano-Satellite Symposium)」(於:名古屋)を共同開催いたします。

つきましては、本件について記事掲載およびイベント当日の取材等を是非お願い致したくご案内申し上げます。

「第4回 超小型衛星シンポジウム」概要

日時: 2012年10月10日(水)~10月13日(土)

場所: ウィンクあいち (愛知県産業労働センター) 10月10日(水)~10月11日(木)
ポートメッセ名古屋(名古屋市国際展示場) 10月12日(金)~10月13日(土)

テーマ: パラダイムシフト:アーキテクチャー、技術、プレイヤーの変革
Paradigm shift — Changing Architecture, Technologies and Players

主催: 国際連合宇宙部(UNOOSA)、東京大学

共催: NPO 法人 大学宇宙工学コンソーシアム

後援: 内閣府、総務省、外務省、文部科学省、経済産業省、愛知県、名古屋市、
名古屋観光コンベンションビューロー

参加国数: 約50カ国、約300名(予定)

使用言語: 英語 (※同時通訳はございません)

オフィシャルサイト: <http://www.nanosat.jp/>

シンポジウム事務局(大学宇宙工学コンソーシアム内):

Tel: 03-5800-6645 Fax: 03-3868-2208 info@nanosat.jp

「第4回 超小型衛星シンポジウム」プログラム内容:

10月10日(水)

9:30~11:10 **基調講演**

- ・東京大学大学院工学系研究科(航空宇宙工学専攻) 教授 中須賀真一
- ・国連宇宙空間平和利用委員会 議長 堀川 康(宇宙航空研究開発機構 技術参与)
- ・国際連合宇宙部(UNOOSA) 基礎宇宙技術 プログラムオフィサー ヴェルナー・バロッグ

11:30~18:30 第2回「超小型衛星ミッションアイデアコンテスト」ファイナリストプレゼンテーション
(詳細は3ページをご覧ください)

10月11日(木)

9:00~9:40 **特別講演**

- ・「Pushing the capabilities of small satellites」
サリー サテライト テクノロジー社(英国) 会長 マーティン・スウィーティング卿
- ・「The Art and Science of Space Systems Engineering」
スティーブンス工科大学(米国) システム&エンタープライズ研究院

教授 ワイリー・J・ラーソン氏

会見・取材のお申し込み・お問い合わせ先:

大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)内「超小型衛星シンポジウム」事務局

担当: 足立 悦子 email: info@nanosat.jp Tel: 03-5800-6645 Fax: 03-3868-2208

9:40~10:40 **パネルディスカッション 1:「コストと時間を抑えて高品質を保つ衛星開発手法」**

- ・東京大学大学院工学系研究科(航空宇宙工学専攻) 教授 中須賀真一
- ・慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 准教授 白坂成功氏
- ・ステレンボッシュ大学(南アフリカ)電気電子工学部長 教授 ハーマン・スタイン氏
- ・サリー サテライト テクノロジー社(英国) 会長 マーティン・スウィーティング卿
- ・トロント大学 フレディ・プラナジャヤ氏

11:00~13:15 セッション 1「超小型衛星のアーキテクチャーと技術開発」

15:45~17:30 セッション 2「衛星開発プロセスにおける技術革新」

17:30~18:30 **パネルディスカッション 2:「小型衛星を用いた国際宇宙教育」**

10月12日(金)

9:20~11:05 セッション 3:「超小型衛星の利用開拓と応用」

11:25~12:15 **パネルディスカッション 3:「小型衛星とスペースデブリ」**

13:30~15:30 セッション 4:「標準化と規制問題」

15:50~17:50 セッション 5:「キャパシティビルディングにおける戦略」

10月13日(土)

9:20~12:40 国連宇宙教育カリキュラムセッション

12:40~13:40 クロージングセッション

※講演者および講演時間は都合により変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

*「超小型衛星シンポジウム」は、内閣府の総合科学技術会議で制度化された「最先端研究開発支援プログラム」(略称:FIRSTプログラム)のもと、日本学術振興会を通して助成されています。

〈開催場所〉

◆ウインクあいち 2F 大ホール

(愛知県産業労働センター)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

Tel: 052-571-6131

JR名古屋駅桜通口から ミッドランドスクエア方面 徒歩5分

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

◆ポートメッセなごや 交流センター3F 会議ホール

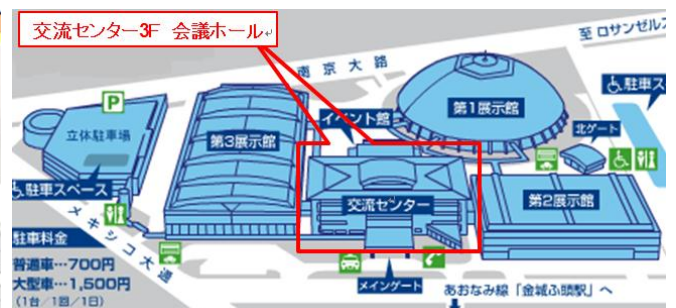
(名古屋市国際展示場)

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭二丁目2番地

Tel.052-398-1771

名古屋駅から「あおなみ線」で「金城ふ頭駅」下車徒歩5分

<http://www.nipc.city.nagoya.jp/pmnr/access/index.html>



会見・取材のお申し込み・お問い合わせ先:

大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)内「超小型衛星シンポジウム」事務局

担当: 足立 悦子 email: info@nanosat.jp Tel: 03-5800-6645 Fax:03-3868-2208

(参考資料)

「第4回 超小型衛星シンポジウム」開催の背景:

東京大学の中須賀教授が中心研究者を務める「日本発『ほどよし信頼性工学』を導入した超小型衛星による新しい宇宙開発・利用パラダイムの構築」プロジェクト(内閣府・最先端研究開発支援プログラム)では、機器開発・利用開拓の活動が進行し、その成果を結集した「ほどよし衛星」の開発を行っています。「超小型衛星シンポジウム」(Nano-Satellite Symposium)は、活動および研究成果を国内外に発表し、超小型衛星の利用や技術開発の促進と、その重要性に対する認識を高めることを目的として、2010年6月に第1回、2011年3月に第2回、2011年12月に第3回を開催いたしました。第4回目となる2012年「超小型衛星シンポジウム」は、国際連合宇宙部と東京大学による初の共同開催となります。

〈関連ウェブサイト〉

- 国際連合宇宙部(UNOOSA: United Nations Office for Outer Space Affairs) <http://www.unoosa.org/>
- 東京大学航空宇宙工学専攻 中須賀研究室 <http://www.space.t.u-tokyo.ac.jp/nlab/index.html>
- 超小型衛星センター(Nano-Satellite Center) <http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/nsat/main.html>
- NPO法人大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC) <http://www.unisec.jp/>

第2回「超小型衛星ミッション アイデアコンテスト」の概要

ミッション アイデアコンテスト(以下、MIC)は、「ほどよしプロジェクト」の一環として開催している、超小型衛星の利用を広げ超小型衛星の革新的な利用方法を募集する国際コンペティションです。第2回 MICでは、第1回目に募集した「衛星設計部門」に加え、新たに「ビジネスモデル部門」を創設。より広い分野の人材からアイデアを募集することにより、技術者とは異なる視点を取り入れ、超小型衛星の新たな可能性を探り、裾野を広げていきます。また、「衛星設計部門」は、群衛星対象という制限を無くし、さらに重量上限も15kgから50kgへとゆるやかにし、より広い利用のアイデアを募集しました。

今回は31カ国から総数72名の応募があり、10月10日(水)「第4回 超小型衛星シンポジウム」の初日に、「衛星設計部門」のファイナリスト7名(7カ国)、「ビジネスモデル部門」ファイナリスト3名(3カ国)の最終プレゼンテーションが行われ、優勝者を決定いたします。

名称: 超小型衛星ミッション アイデアコンテスト(正式名称: Mission Idea Contest、略称: MIC)
日時: 2012年10月10日(水)(※超小型衛星シンポジウム初日)
場所: ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)
主催: NPO法人 大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)
後援: 東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 中須賀研究室
審査部門: 1. 衛星設計とミッションアイデア部門
2. ミッションアイデアとビジネスモデル部門
アワード: ・衛星設計とミッションアイデア部門 優勝、準優勝
・ミッションアイデアとビジネスモデル部門 優勝、準優勝
・学生チーム 優秀賞
・環境分野最優秀者(チーム) IAA賞(国際宇宙航行アカデミー賞)
・最優秀ポスター賞
使用言語: 英語
オフィシャルサイト: www.spacemic.net (英語のみ)

第1回「超小型衛星国際ミッション アイデアコンテスト」の実績

応募状況: 24カ国から62件の応募
参加国: アメリカ合衆国、アルジェリア、イギリス、インド、ウクライナ、エジプト、エチオピア、カナダ、韓国、ケニア、シンガポール、スペイン、セネガル、チュニジア、ドイツ、トルコ、ナイジェリア、日本、ベトナム、ベネズエラ、ペルー、南アフリカ、メキシコ、リトアニア

会見・取材のお申し込み・お問い合わせ先:

大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)内「超小型衛星シンポジウム」事務局
担当: 足立 悦子 email: info@nanosat.jp Tel: 03-5800-6645 Fax: 03-3868-2208